

和装振興協議会 七夕ゆかた祭 事例紹介

2025年3月5日

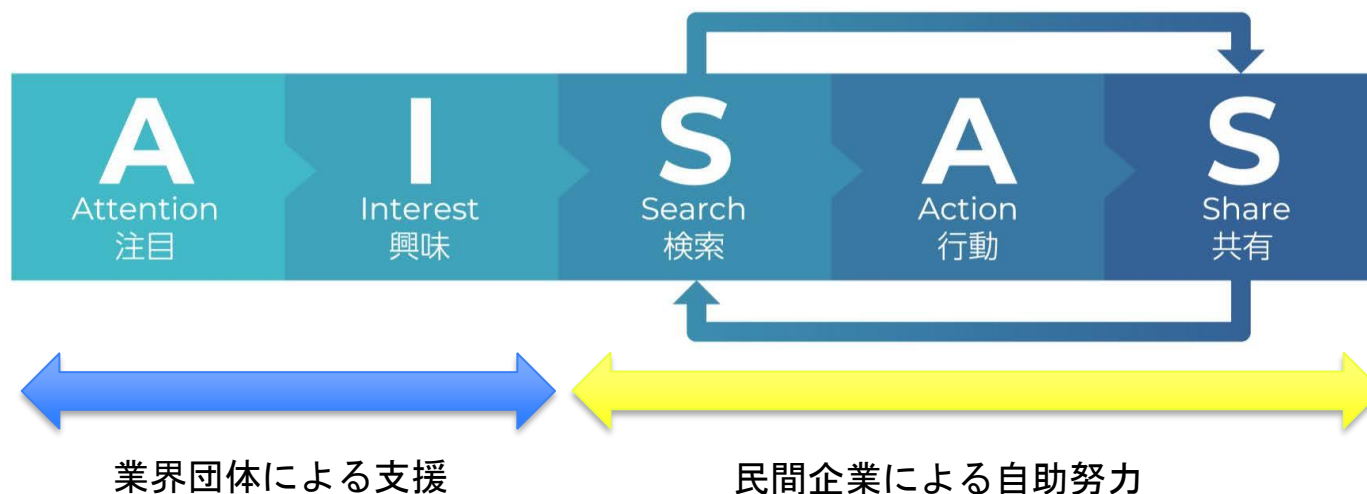
東京織物卸商業組合
和装部会長 上達 功

1. 和装業界の現状と課題

- 市場規模の縮小と従事者の減少が深刻化。
- 着物の製造・販売には高度な人による技術が必要。
- 流通の効率化と広報の強化が業界発展の鍵。
- 業界団体や国のリードによる戦略的なプロモーションが不可欠。

2. 広報戦略の必要性

- 現在の着物ユーザーは「マニア層」に偏りがち。
- 市場全体の1%を2%にするだけで市場規模は2倍に拡大。
- 企業単独では短期的な売上に集中しがち。
- 業界団体が主体となり、長期的な広報活動を推進する必要がある。



3. 「日本橋きものパスポート」

着物を着て来訪すると特典を受けられる仕組み。



2024/10/10
2024年10月5日(土) フジテレビ「サスティな!」にて
日本橋きものパスポートが紹介されました!



2024/09/01
雑誌「日本舞踊」2024年9月号



2024/08/06
2024年8月2日TBSテレビ番組「LIFE」



2023/03/04
美しいキモノ2023年春号



2022/07/26
2022夏「OZmall」タイアップ特集



2021/07/16
GREATER 日本橋 マガジン 2021夏号



2021/05/18
美しいキモノ2021年夏号



2021/03/08
七緒 2021年春号



2021/03/02
きものsalon 2021年春号

4. 「七夕ゆかたまつり」

- 「七夕ゆかたまつり in 日本橋」
 - 日本橋を「着物の似合う街」にするブランディング施策。
 - 三井不動産との協力で実施。
 - 地元の小学生1,400名が短冊企画に参加。



5. 市場拡大による未来への影響

- 需要拡大が職人の労働環境改善につながる。
- 着物の希少性が向上し、価格の適正化が進む。
- 後継者の増加につながり、業界の持続可能性が向上。

6. まとめと今後の展望

- ・ 着物には認知度・興味・ビジュアルの強みがある。
- ・ 東京織物卸商業組合という公的機関が関与したからこそ実現。
- ・ 国家レベルの支援があればさらに広がる可能性。
- ・ 経済産業省とともに和装文化の発展を推進することを期待。

本日はありがとうございました。